

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価に関する報告書

(平成30年度事業分)

令和元年8月

猿払村教育委員会

目 次

1. はじめに	1～2
2. 平成30年度 教育委員会の運営状況	
(1) 教育委員名簿	2
(2) 各種会議及び行事の実施状況	2～8
(3) 村内小中学校教職員数及び児童生徒数	8
(4) 施設別利用状況	9～10
(5) 学校給食実施状況	11
3. 平成30年度 各種委員・事務局等職員構成状況	12～15
4. 平成30年度 教育委員会事務点検・評価	
○生きる力を支える確かな学力の定着	15～16
○生きる力を支える豊かな心と健やかな体の育成	16～18
○期待され、信頼される学校づくりの推進	18～20
○村を愛し誇れる豊かな心を育み魅力あふれる地域づくりをめざす 社会教育の推進	20～21

《資料編》

資料1 猿払村教育目標

資料2 平成30年度猿払村教育行政執行方針

1. はじめに

(1) 点検・評価の趣旨

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、すべての教育委員会は、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この法に基づき、猿払村教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすため、平成 30 年度の教育委員会事務事業の点検・評価を実施し、その結果を報告書として取りまとめました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象事業

点検・評価の対象事業は、「平成 30 年度教育行政執行方針」に掲げています主な施策に基づく事務事業を対象としております。

教育委員会では、これらの事業の実績等を踏まえ、教育行政執行方針及び各種教育推進計画の観点から点検評価を行いました。

(3) 点検・評価の方法

① 内部評価（一次評価：教育委員会事務局による評価）

各係が所管する「事務事業」の成果や達成状況について、判定基準に基づき評価判定を行い、課題・方向性を総括しました。

（評価の判定基準）

- A：計画どおり又は計画以上の成果を得られた
- B：おおむね目的は達成できた
- C：やや課題を残すが目的をおおむね達成できた
- D：課題が多く、目的も十分達成できなかった
- E：目的・内容等に再考を要する

② 内部評価（二次評価：教育委員による評価）

一時評価を行った事務事業について、総合的に評価を行い事業効果・今後の課題を明確にしました。

③ 外部評価（学識経験者による評価）

点検・評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する以下の方を評価委員

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

として委嘱し、委員から様々な意見・提言等をいただきました。

【猿払村教育委員会評価委員】

氏 名	職 業 ・ 経 歴 等	備 考
庄 崎 裕 史	一般社団法人 ななかまどの会事務局長 元鬼志別小学校・浅茅野小学校 校長	
中 山 博 一	漁業 元拓心中PTA会長	

(4) 点検・評価の経過等 (予定を含む)

- ・令和元年7月上旬 内部評価(一次評価)※報告内容協議
- ・令和元年7月25日 内部評価(二次評価)※教育委員会議
- ・令和元年8月23日 第1回評価委員会の開催
評価委員会の意見のとりまとめ
- ・令和元年8月26日 教育委員会にて報告書の議決
- ・令和元年9月10日 定例議会で報告
- ・令和元年9月10日 報告書の公表(村ホームページに掲載予定)

2. 平成 30 年度 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員名簿

職 名	氏 名	任 命 年 月 日	備 考
教 育 長	眞 坂 潤 一	平成 28 年 4 月 1 日	
教育長職務代理者	藤 本 霞	平成元年 12 月 15 日	
委 員	宮 川 哲	平成 17 年 9 月 28 日	
委 員	榛 澤 弘 章	平成 30 年 6 月 30 日	
委 員	桧 物 誠	平成 30 年 12 月 29 日	
※退任委員	川 谷 常 夫	平成 8 年 9 月 26 日	平成 30 年 12 月 28 日任期満了
※退任委員	玉 田 将	平成 22 年 6 月 30 日	平成 30 年 6 月 29 日任期満了

(2) 各種会議及び行事の実施状況

内 容	開催数等	場 所
教育委員会議(会議内容等は別記1のとおり)	12回	教 育 長 室
総合教育会議	1回	教 育 長 室
教育懇談会(学校経営研究協議会)	1回	役 場 会 議 室
北海道市町村教育委員研修大会	1回	札 幌 市
宗谷管内市町村教育委員研修会	1回	豊 富 町

別記 1 平成 30 年度教育委員会議開催に係る審議内容

開催日等	協 議 ・ 報 告	そ の 他
4 月 20 日(金) 出席委員 5 名 欠席委員なし 事務局同席	①平成 30 年 4 月 1 日付教育委員会人事発令について ②平成 30 年度教職員一覧について ③平成 30 年度児童生徒数一覧について ④平成 30 年度入学式の国旗掲揚・国歌斉唱の実施状況について ⑤平成 30 年度主任等の命課状況について ⑥平成 30 年度社会教育事業計画について ⑦平成 30 年度会議日程について ⑧平成 30 年度猿払村教育委員学校訪問について	①平成 30 年 4 月 21 日から 5 月 24 日までの行事予定について
5 月 28 日(木) 出席委員 3 名 欠席委員 2 名 事務局同席	①修学旅行の引率業務等に従事する村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について ②平成 30 年第 1 回猿払村議会臨時会上程案件について ③平成 30 年第 2 回猿払村議会定例会上程案件について ④平成 30 年度小・中学校運動会・体育祭日程について ⑤平成 30 年度学校評議員名簿について ⑥平成 30 年度学校開放指導員名簿について ⑦平成 30 年度スポーツ少年団指導員名簿について ⑧平成 30 年度全国学力・学習状況調査の実施状況について ⑨生涯学習講演会について ⑩『教職員の飲酒運転根絶に向けた「決意と行動」』及び『教育委員会職員の飲酒運転根絶に向けた「決意と行動」』の一部改正について ⑪平成 30 年度猿払村教育委員学校訪問について ⑫第 55 回北海道市町村教育委員研修会について	①平成 30 年 5 月 29 日から 6 月 14 日までの行事予定について
6 月 18 日(月) 出席委員 4 名 欠席委員 1 名 事務局同席	①第 2 回定例村議会上程案件について ②猿払村立学校管理規則の一部を改正する規則について ③猿払村立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について ④学校における働き方改革「猿払村アクション・プラン」の策定について ⑤オジョールスキイ村学童交流事業（訪問）の実施について ⑥第 55 回北海道市町村教育委員研修会について ⑦校長会主催「平成 30 年度第 1 回親睦パークゴルフ大会」について	①平成 30 年 6 月 19 日から 7 月 26 日までの行事予定について
7 月 25 日(水) 出席委員 5 名 欠席委員なし 事務局同席	①平成 29 年度の猿払村教育委員会事務事業の点検及び評価について ②第 2 回臨時議会における補正予算の提出について ③猿払村奨学資金貸付制度（案）について ④スクールバスの一般住民の利用について ⑤猿払村いじめ防止基本方針について ⑥第 2 回定例議会（6 月）の結果について ⑦猿払村学校給食センター管理運営規程の一部を改正する訓令について ⑧猿払村学校給食センター調理業務委託要綱の一部を改正する訓令について ⑨市町村立学校職員の平成 30 年 6 月期における勤勉手当の給与決定手続きについて ⑩第 55 回北海道市町村教育委員研修会について	①平成 30 年 7 月 26 日から 8 月 23 日までの行事予定について
8 月 23 日(木) 出席委員 4 名 欠席委員 1 名 事務局同席	①猿払村奨学資金貸付基金条例の制定について ②平成 30 年度猿払村一般会計補正予算（教育委員会関係）について ③猿払村スクールバス運行管理規則の一部を改正する規則の制定について ④平成 31 年度使用中学校用「特別の教科 道徳」教科用図書及び「特別の教科道徳」以外の小学校用教科用図書の採択について ⑤平成 30 年度全国学力学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について ⑥区域外就学願いの承諾について ⑦教育委員会職員人事について ⑧猿払村スクールバス混乗事業に関する取扱要綱について ⑨第 2 回臨時議会の結果について ⑩平成 29 年度の猿払村教育委員会事務事業の点検及び評価について ⑪オジョールスキイ村学童交流事業の終了について ⑫校長会主催パークゴルフ大会の開催について	①平成 30 年 8 月 24 日から 9 月 27 日までの行事予定について

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

<p>9月27日(木) 出席委員5名 欠席委員なし 事務局同席</p>	<p>①猿払村体育施設等条例施行規則の一部改正について ②猿払村立学校開放施設使用条例施行規則の一部改正について ③猿払村就学援助規則の一部改正について ④猿払村奨学資金貸付基金条例の制定について ⑤平成30年度猿払村一般会計補正予算(教育委員会関係)について ⑥猿払村奨学資金貸付基金条例施行規則の制定について ⑦猿払村生涯学習実践団体等表彰規則実施要綱の一部改正について ⑧猿払村スポーツ活動優秀者等表彰規則実施要綱の一部改正について ⑨平成30年度宗谷管内市町村教育委員研修会について ⑩教育委員学校訪問の実施について ⑪平成30年度猿払村表彰式(教育委員会表彰)について</p>	<p>①平成30年9月28日から10月24日までの行事予定について</p>
<p>10月24日(水) 出席委員4名 欠席委員1名 事務局同席</p>	<p>①平成31年度教職員人事に関する教育長への一任について ②平成30年度猿払村生涯学習実践団体等表彰規則に基づく授賞者の決定について ③平成30年度猿払村スポーツ活動優秀者等表彰規則に基づく授賞者の決定について ④健康増進法の一部改正法の公布に伴う「学校敷地内」及び「体育施設内」での全面禁煙の実施について ⑤平成30年度猿払村善行賞・生涯学習奨励賞等表彰式について ⑥平成30年度猿払村一般会計補正予算(教育委員会関係)について ⑦平成30年度猿払村文化祭等について ⑧村立学校教職員の事故について ⑨教職員の病欠休暇等について</p>	<p>①平成30年10月25日から11月22日までの行事予定について</p>
<p>11月22日(木) 出席委員5名 欠席委員なし 事務局同席</p>	<p>①教育委員同意案について ②平成30年度猿払村一般会計補正予算(教育委員会関係)について ③平成30年度第4回臨時議会行政報告について ④平成30年度猿払村一般会計補正予算(教育委員会関係)について ⑤議会経済常任委員会における報告について(旧浜猿払小関係) ⑥市町村立学校職員の平成30年12月期における勤勉手当に係る給与決定手続きについて ⑦平成30年度猿払村文化祭等の結果について ⑧教員の休暇について ⑨平成30年度全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書の公表について ⑩教育委員学校訪問について ⑪区域外就学の終了について</p>	<p>①平成30年11月23日から12月19日までの行事予定について</p>
<p>12月21日(金) 出席委員5名 欠席委員なし 事務局同席</p>	<p>①平成30年度猿払村一般会計補正予算(教育委員会関係)について ②教育委員選任同意案について ③猿払村成人式について ④教員の復職について ⑤平成30年度全国体力・運動能力、運動週間等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>	<p>①平成30年12月22日から平成31年1月24日までの行事予定について</p>
<p>1月24日(木) 出席委員5名 欠席委員なし 事務局同席</p>	<p>①平成30年度猿払村教育支援委員会の審議結果について ②市町村立学校職員の平成31年1月1日昇給における給与決定手続きについて ③平成30年度各学校卒業式及び平成31年度入学式日程等について ④平成30年度小中学生学習意欲向上サポート事業の実施について ⑤平成30年度村民スキー大会の開催について ⑥平成30年度第1回総合教育会議の開催について ⑦平成31年に任期満了を迎える委員について</p>	<p>①平成31年1月25日から2月13日までの行事予定について</p>
<p>2月13日(水) 出席委員4名 欠席委員1名 事務局同席</p>	<p>①平成30年度猿払村一般会計補正予算(案) ②平成31年度教育行政執行方針(案)について ③平成31年度教育費予算(議会提案予定)の概要について ④平成30年度猿払村教育支援委員会の審議結果について ⑤平成30年度就学予定者について ⑥猿払村立小学校及び中学校臨時補助教職員の任用に関する要綱の一部改正について ⑦平成30年度各学校卒業式及び平成31年度各学校入学式日程等について</p>	<p>①平成31年2月14日から3月15日までの行事予定について</p>
<p>3月15日(木) 出席委員4名 欠席委員1名 事務局同席</p>	<p>①猿払村立学校管理規則の一部を改正する規則について ②平成31年度行政執行方針及び教育行政執行方針について ③平成30年度猿払村一般会計補正予算(第10号)について ④平成31年度猿払村一般会計予算について ⑤教育長同意案について ⑥修学旅行の引率業務等に従事する村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令について</p>	<p>①平成30年3月16日から4月20日までの行事予定について</p>

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

	⑦平成 31 年 4 月 1 日付け教職員人事異動について ⑧平成 31 年 4 月 1 日付け教育委員会人事について ⑨教職員事故における懲戒処分について ⑩平成 30 年度各学校卒業式及び平成 31 年度各学校入学式日程等について ⑪次回教育委員会議の開催及び平成 31 年度会議日程について	
3 月 22 日(金) ※書面開催	①拓心中学校における通知表記載誤りについて	

別記 2 教育委員の学校訪問実施状況

開催日等	訪問学校名	訪問時間	授業時間
10 月 22 日(月) ※事務局と合同	浅茅野小学校	9:20~10:05	〔2校時目〕9:20~10:05
	浜鬼志別小学校	10:30~11:15	〔3校時目〕10:30~11:15
10 月 23 日(火) ※事務局と合同	鬼志別小学校	9:30~10:15	〔2校時目〕9:20~10:05
	拓心中学校	10:25~11:10	〔3校時目〕10:30~11:20
	知来別別小学校	11:30~12:15	〔4校時目〕11:30~12:15

学校長会議

内 容	開催数等	場 所
定例校長会議	12 回	役場庁舎会議室
臨時校長会議	4 回	役場庁舎会議室

教頭会議

内 容	開催数等	場 所
定例教頭会議	12 回	役場庁舎会議室
臨時教頭会議	1 回	役場庁舎会議室

学校教育関係諸会議

内 容	開催数等	場 所
生徒指導連絡協議会	3 回	役場庁舎会議室
教職員住宅委員会	1 回	役場庁舎会議室
学校保健委員会	4 回	役場庁舎会議室
三者合同会議	1 回	役場庁舎会議室
特別支援連携協議会	2 回	役場庁舎会議室
情報教育推進委員会	4 回	役場庁舎会議室
教育支援委員会	4 回	役場庁舎会議室
外国語活動検討委員会	4 回	役場庁舎会議室
拓心中学校学校運営協議会	3 回	拓 心 中 学 校
適正配置審議会		開催なし

学校教育関係その他諸行事

内 容	開 催 日 等	場 所
教職員人事辞令交付式	4月3日	役場交流センター
入学式(各小学校 午前・拓心中学校 午後)	4月6日	各小・中学校
三者合同会議	4月9日	役場会議室
尿検査一回回収	4月10日	各小学校
歯科検診(浜鬼志別小・知来別小)	4月11日	歯科診療所
心臓検診(対象:小1、4年・中1年)	4月12・13日	各小・中学校
歯科検診(拓心中・浅茅野小)	4月18日	歯科診療所
歯科検診(鬼志別小)	4月25日	歯科診療所
尿検査二次回収	4月26日	各小学校
内科検診(浜鬼志別小・知来別小)	5月14日	鬼志別小学校
尿検査一回回収	5月15日	拓心中学校
内科検診(拓心中)	5月21日	拓心中学校
内科検診(浅茅野小)	5月22日	浅茅野小学校
内科検診(浜鬼志別小・知来別小)	5月22日	浜鬼小・知来別小
拓心中学校体育祭	5月27日	拓心中学校
内科検診(鬼志別小)	6月5日	拓心中学校
村内各小学校運動会	6月3日	各小学校
内科検診(欠席者対応)	6月8日	国民健康保険病院
内科検診(欠席者対応)	6月13日	国民健康保険病院
内科検診(欠席者対応)	6月14日	国民健康保険病院
村内小学校陸上競技大会(雨天のため中止)	月 日	鬼志別小学校
脊柱側弯症検診	7月11日	稚内保健福祉センター
第1回特別支援連携協議会	7月17日	役場会議室
オジョールスキイ村学童交流事業	8月13~16日	サハリ州オジョールスキイ村
学芸会	10月7日	鬼志別小学校
学芸会	10月14日	知小・浜鬼小・浅小
就学時知能検査	10月16・22・25日	各小学校
就学時健康診断	10月26日	国保病院・歯科診療所
拓心中学校学校祭	10月28日	拓心中学校
拓心中学校卒業式	3月13日	拓心中学校
鬼志別・知来別・浜鬼志別小学校卒業式	3月17日	鬼小・知小・浜鬼小
浅茅野小学校卒業式	3月21日	浅茅野小学校

社会教育関係会議

内 容	開催数等	場 所
社会教育委員会議	3回	役場庁舎会議室
文化財保護委員会	1回	役場庁舎会議室
スポーツ推進委員会議	1回	役場庁舎会議室

社会教育・社会体育主要行事实施状況

内 容	開催数等	場 所
なかよし号巡回(毎月第 2 木曜日)	4/12～3/14	浅小・浅茅野台地
なかよし号巡回(毎月第 2 月曜日)	4/16～3/11	知小・浜鬼小
なかよし号巡回(毎月第 4 月曜日)	4/25～3/13	狩別・鬼小
宗谷管内スポーツ推進委員連絡協議会他 2 団体総会	4 月 26 日	稚内文化センター
高齢者生涯学習事業(ソーセージづくり体験)	5 月 22・24 日	牛乳と肉の館
宗谷管内文化団体連絡協議会代表者会議	5 月 23 日	稚内文化センター
宗谷管内社会教育委員連絡協議会研修会	5 月 25 日	礼文町町民活動総合センター
宗谷管内社会教育連絡協議会理事会・代議員総会	5 月 29 日	稚内市風～るわっかない
体力測定会	5 月 30 日	農村環境改善センター
生涯学習講演会(森田正光氏)	6 月 16 日	交 流 セ ン タ ー
親子ふれあい事業「親子で自然観察会」	6 月 24 日	村 内 各 地
村民音楽会(フルビート・パーカッション)	7 月 28 日	交 流 セ ン タ ー
高齢者・身障者大運動会(教委後援)	7 月 20 日	ス ポ ー ツ セ ン タ ー
村営プール開放	7/21～9/9	村 営 プ ー ル
自然体験総合活動第 40 回どろんこ広場	7 月 22 日	村 内 各 地
ジュニア水泳教室(3 回)	7 月 26～30 日	村 営 プ ー ル
北海道科学大学子供科学教室(教委後援)	7 月 29 日	楽 楽 心
小中学生学習意欲向上サポート事業「小学生わくわく学習会 in さるふつ」(夏季)	8 月 8～10 日	農村環境改善センター他
子育て講演会&PTA 連合会研究大会(宮西達也氏)	9 月 1 日	交 流 セ ン タ ー
高齢者生涯学習事業(パン作り体験教室)	9 月 20 日	楽 遊 館
体力測定会	9 月 26 日	ス ポ ー ツ セ ン タ ー
バランスボール体験教室	10 月 10 日	農村環境改善センター
全道社会教育委員研修会	10 月 12～13 日	留 寿 都 村
中央芸術学校公演「あらしのよるに」	10 月 30 日	鬼 志 別 小 学 校
文化奨励賞等表彰式	11 月 3 日	交 流 セ ン タ ー
第 37 回少年の主張大会	11 月 4 日	交 流 セ ン タ ー
第 15 回小中学生作品展	11 月 3～4 日	生活改善センター
第 51 回文化祭-作品展	11 月 3～4 日	生活改善センター
第 51 回文化祭-芸能発表祭	11 月 4 日	交 流 セ ン タ ー
社会教育委員ミニ講座	11 月 27 日	役 場 会 議 室
第 2 回教育長杯サークルボール大会	12 月 16 日	農村環境改善センター
村営スキー場営業	1/7～2/24	村 営 ス キ ー 場
平成 31 年成人式	1 月 3 日	交 流 セ ン タ ー
4・5 歳児スキー体験会	1 月 19 日	交 流 セ ン タ ー 他
小学生ナイタースキースクール (5 回中、1 回悪天候で中止)	1/22～2/1	村 営 ス キ ー 場

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

小中学生新春書初め展	1月28～31日	役場1階ホール
ジュニアスキーバッチテスト	1月30日	村営スキー場
親子ふれあい事業「パパと一緒にクッキング」	2月2日	保健福祉総合センター
宗谷管内ジュニアリーダー研修会	2月3日	稚内少年自然の家
小中学生学習意欲向上サポート事業「小学生わくわく学習会 in さるふつ」(冬季)	2月15～17日	農村環境改善センター他
第47回村民スキー大会&スノーフェスティバル in さるふつ	2月17日	村営スキー場
その道のプロに教わろう「和菓子づくり教室」	2月23日	保健福祉総合センター
さわやかゲートボール大会	3月3日	スポーツセンター
親子ふれあい事業「スノーシューで自然観察会」	3月10日	浅茅野小学校周辺

(3) 村内小中学校教職員数及び児童生徒数(平成30年5月1日現在)

へき地級	学校名	学級数	教職員数	児童・生徒数
2級	鬼志別小学校	8学級	管理職2 教諭10 期付教諭2 養護教諭1 栄養教諭1 事務職員1	72人
3級	知来別小学校	4学級	管理職2 教諭4 養護教諭1 事務職員1	23人
2級	浜鬼志別小学校	7学級	管理職2 教諭7 代替期付教諭2 養護教諭1 事務職員1	43人
3級	浅茅野小学校	3学級	管理職2 教諭2 養護教諭1	11人
2級	拓心中学校	6学級	管理職2 教諭12 代替期付教諭2 養護教諭1 事務職員1	89人
合計	5校	28学級	61人	238人

(4) 施設別利用状況

スポーツセンター			
月	件数	延人数	備考
4	59件	587人	
5	45件	972人	
6	43件	912人	
7	53件	920人	
8	54件	661人	
9	53件	750人	
10	68件	842人	
11	67件	785人	
12	51件	631人	
1	42件	326人	
2	53件	570人	
3	67件	629人	
計	655件	8,585人	

農村環境改善センター(図書室除く)			
月	件数	延人数	備考
4	121件	722人	
5	84件	597人	
6	89件	580人	
7	79件	474人	
8	80件	714人	
9	95件	604人	
10	100件	569人	
11	108件	666人	
12	91件	498人	
1	78件	342人	
2	106件	846人	
3	125件	730人	
計	1,156件	7,342人	

農村環境改善センター(多目的ホール分)			
月	件数	延人数	備考
4	71件	538人	
5	45件	349人	
6	41件	342人	
7	46件	358人	
8	46件	600人	
9	47件	456人	
10	47件	377人	
11	79件	559人	
12	70件	438人	
1	61件	315人	
2	64件	653人	
3	78件	623人	
計	695件	5,608人	

老人憩いの家			
月	件数	延人数	備考
4	3件	22人	
5	6件	125人	
6	5件	278人	
7	1件	15人	
8	9件	126人	
9	1件	4人	
10	2件	31人	
11	5件	39人	
12	3件	130人	
1	3件	47人	
2	5件	50人	
3	1件	40人	
計	44件	907人	

村 営 プ ー ル							
月	幼 児	児童生徒	一 般	合 計	平均室温	平均水温	開館日数
7	65人	310人	101人	476人	32.0℃	26.3℃	11日
8	98人	505人	151人	754人	26.9℃	25.1℃	21日
9		68人	14人	82人	27.6℃	24.0℃	6日
計	163人	883人	266人	1,312人	28.8℃	25.1℃	38日

村 営 球 場		
月	件 数	延 人 数
5	17件	417人
6	26件	546人
7	22件	618人
8	29件	840人
9	25件	577人
10	7件	96人
計	126件	3,094人

村営スキー場（延べ輸送人員）				
月	区 分	大 人	小 人	計
12	有 料	0人	0人	0人
	無 料	0人	0人	0人
	計	0人	0人	0人
1	有 料	150人	286人	436人
	無 料	3,674人	8,621人	12,295人
	計	3,824人	8,907人	12,731人
2	有 料	33人	11人	44人
	無 料	1,460人	2,181人	3,641人
	計	1,493人	2,192人	3,685人
合 計	有 料	183人	297人	480人
	無 料	5,134人	10,802人	15,936人
	計	5,317人	11,099人	16,416人

図 書 室				移動図書館車	
月	利用人数	貸し出し		貸し出し	
		冊 数	人 数	冊 数	人 数
4	118人	470冊	77人	139冊	54人
5	123人	290冊	79人	49冊	20人
6	162人	447冊	119人	166冊	61人
7	166人	324冊	96人	116冊	44人
8	167人	486冊	101人	106冊	42人
9	124人	308冊	89人	120冊	44人
10	142人	513冊	96人	135冊	47人
11	149人	335冊	95人	159冊	58人
12	130人	297冊	85人	106冊	42人
1	107人	299冊	73人	125冊	45人
2	112人	283冊	80人	84冊	31人
3	150人	295冊	89人	76冊	22人
計	1,650人	4,347冊	1,079人	1,381冊	510人

リフト券売上げ合計 10,750 円

◆ 1日券

小人（13枚×250円） 3,250 円

大人（15枚×500円） 7,500 円

(5) 学校給食実施状況

学 校 名	年 間 給 食 実 施 日 数			延 人 数	参 考 (平 成 29 年 度)	
	米飯等	麵 類	計		日 数	延人数
鬼 志 別 小 学 校	156 日	42 日	198 日	17,671 人	193 日	20,105 人
知 来 別 小 学 校	156 日	43 日	199 日	6,586 人	190 日	6,324 人
浜 鬼 志 別 小 学 校	158 日	43 日	201 日	11,395 人	190 日	11,149 人
浅 茅 野 小 学 校	154 日	43 日	197 日	3,633 人	192 日	3,833 人
小 学 校 計	平均 156.00 日	平均 42.75 日	平均 198.75 日	39,285 人	平均 191.3 日	41,411 人
拓 心 中 学 校	158 日	42 日	200 日	20,738 人	187 日	18,252 人
学 校 給 食 セ ン タ ー	165 日	40 日	205 日	1,659 人	199 日	1,341 人
合 計	実日数 165 日	実日数 40 日	実日数 205 日	61,682 人	実日数 199 日	61,004 人

3. 平成 30 年度 各種委員・事務局等職員構成状況

(1) 特別支援連携協議会委員

職名	氏名	任命年月日	備考
会長	藤田 淳	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別小学校校長
副会長	菊地 俊雄	平成 30 年 4 月 1 日	浅茅野小学校教頭
委員	佐藤 弘子	平成 30 年 4 月 1 日	保健福祉課課長補佐
委員	矢野 知里	平成 30 年 4 月 1 日	保健福祉課健康推進係長
委員	小泉 奈央子	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別保育所保育係長
委員	橋本 加奈子	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別保育所保育係長
委員	長坂 武	平成 30 年 4 月 1 日	国民健康保険病院副院長
委員	若木 郁子	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別小学校教諭
委員	真坂 和義	平成 30 年 4 月 1 日	知来別小学校校長
委員	林 一也	平成 30 年 4 月 1 日	知来別小学校教諭
委員	長谷川 富夫	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別小学校校長
委員	林 陽子	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別小学校教諭（統括コーディネーター）
委員	吉田 瞬壺	平成 30 年 4 月 1 日	拓心中学校校長
委員	太田 千絵	平成 30 年 4 月 1 日	拓心中学校教諭
委員	世永 千明	平成 30 年 4 月 1 日	民生委員児童委員協議会主任児童委員
委員	松谷 厚	平成 30 年 4 月 1 日	社会福祉協議会事務局長
委員	阿部 孝好	平成 30 年 4 月 1 日	教育委員会教育次長
委員	瀬戸 俊介	平成 30 年 4 月 1 日	教育委員会学校教育係長
委員	小高 翔太	平成 30 年 4 月 1 日	教育委員会総務・学校教育係主事
委員	浅野 孝一	平成 30 年 4 月 1 日	教育委員会学校教育係教育指導員
委員	橋本 伸明	平成 30 年 4 月 1 日	北海道稚内養護学校教頭

(2) 教育支援委員会委員

職名	氏名	任命年月日	備考
委員長	長谷川 富夫	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別小学校校長
副委員長	菊地 俊雄	平成 30 年 4 月 1 日	浅茅野小学校教頭
委員	若木 郁子	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別小学校教諭
委員	林 一也	平成 30 年 4 月 1 日	知来別小学校教頭
委員	林 陽子	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別小学校教諭
委員	俵 昌彦	平成 30 年 4 月 1 日	拓心中学校教諭
委員	長坂 武	平成 30 年 4 月 1 日	村国民健康保険病院副院長
委員	浅野 孝一	平成 30 年 4 月 1 日	教育委員会学校教育係教育指導員
委員	近野 由恵	平成 30 年 4 月 1 日	保育所長・子育て支援センターセンター長
委員	吉岡 尚美	平成 30 年 4 月 1 日	保育所副所長・子育て支援センター副センター長
委員	佐藤 弘子	平成 30 年 4 月 1 日	保健福祉課課長補佐

(3) 学校運営協議会委員

学校	職名	氏名	任命年月日	備考
拓心中	会長	三浦高志	平成 30 年 7 月 24 日	鬼志別南町町内会長
拓心中	副会長	中山博一	平成 30 年 7 月 24 日	地域住民（前評議員）
拓心中	委員	藤田 聡	平成 30 年 7 月 24 日	保護者（学校 PTA 会長）
拓心中	委員	橋本加奈子	平成 30 年 7 月 24 日	地域住民（前評議員）
拓心中	委員	秋元秀樹	平成 30 年 7 月 24 日	地域住民（前評議員）
拓心中	委員	吉田瞬壺	平成 30 年 7 月 24 日	拓心中学校 校長
拓心中	委員	高橋一哉	平成 30 年 7 月 24 日	拓心中学校 教頭
拓心中	委員	藤田 淳	平成 30 年 7 月 24 日	鬼志別小学校 校長
拓心中	委員	真坂和義	平成 30 年 7 月 24 日	知来別小学校 校長
拓心中	委員	長谷川 富夫	平成 30 年 7 月 24 日	浜鬼志別小学校 校長
拓心中	委員	三野宮 誠一	平成 30 年 7 月 24 日	浅茅野小学校 校長
拓心中	委員	佐藤弘子	平成 30 年 7 月 24 日	保健福祉課 課長補佐
拓心中	委員	阿部孝好	平成 30 年 7 月 24 日	教育委員会 教育次長

(4) 社会教育委員

職名	氏名	任命年月日	住所
委員長	川谷英夫	昭和 61 年 4 月 1 日	浜猿払
副委員長	吉田瞬壺	平成 29 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	榛澤恒道	平成 3 年 4 月 1 日	知来別
委員	鳥谷部 淳子	平成 10 年 4 月 1 日	浜鬼志別
委員	小山内 浩一	平成 12 年 7 月 24 日	鬼志別南町
委員	小高政一	平成 16 年 4 月 1 日	鬼志別南町
委員	秋元秀樹	平成 18 年 4 月 1 日	浜鬼志別
委員	庄崎裕史	平成 22 年 4 月 1 日	鬼志別南町
委員	中山博一	平成 24 年 4 月 1 日	知来別
委員	片桐紀子	平成 26 年 4 月 1 日	狩別
委員	藤田 淳	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	円丁康子	平成 30 年 4 月 1 日	芦野

(5) 文化財保護委員

職名	氏名	任命年月日	住所
会長	長原久美	平成 2 年 1 月 1 日	浜猿払
委員	前田聖子	平成 13 年 4 月 1 日	浜猿払
委員	阿部直樹	平成 18 年 4 月 1 日	猿 払
委員	高橋 誠	平成 24 年 4 月 1 日	芦 野
委員	岡本昌孝	平成 28 年 4 月 1 日	鬼志別南町
委員	川原 満	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別東町

(6) スポーツ推進委員

職名	氏名	任命年月日	住所
委員	笠井 幹哉	昭和 63 年 6 月 1 日	鬼志別南町
委員	日光 勝夫	平成 9 年 7 月 1 日	知来別
委員	熊谷 保雄	平成 16 年 6 月 1 日	鬼志別西町
委員	久保 貴人	平成 27 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	坂本 秀喜	平成 28 年 6 月 1 日	鬼志別西町
委員	今野 翔平	平成 28 年 6 月 1 日	鬼志別西町

(7) 学校給食センター運営委員

職名	氏名	任命年月日	住所
委員長	三野宮 誠一	平成 30 年 4 月 1 日	浅茅野
副委員長	山吹 卓也	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	長屋 篤	平成 30 年 4 月 1 日	知来別
委員	相内 和也	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別
委員	須藤 克章	平成 30 年 4 月 1 日	浅茅野台地
委員	藤田 聡	平成 30 年 4 月 1 日	浜鬼志別
委員	藤田 淳	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	真坂 和義	平成 30 年 4 月 1 日	知来別
委員	吉田 瞬壱	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
委員	後藤 仁弘	平成 30 年 4 月 1 日	知来別
委員	菊地 俊雄	平成 30 年 4 月 1 日	浅茅野
委員	坂本 美佳	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別

(8) 教育委員会事務局職員（平成 31 年 3 月 31 日時点）

職名	氏名	任命年月日	住所
教育次長	阿部 孝好	平成 29 年 4 月 1 日	鬼志別北町
総務係兼学校教育係係長	瀬戸 俊介	平成 28 年 4 月 1 日	鬼志別西町
総務係兼学校教育係主事	小高 翔太	平成 27 年 4 月 1 日	鬼志別南町
社会教育係長兼社会体育係長	鈴木 淳司	平成 29 年 2 月 1 日	鬼志別南町
社会教育係兼社会体育係主事補	松谷 美桜	平成 29 年 4 月 1 日	鬼志別西町
社会教育係専門員	小俣 孝範	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
学校教育係教育指導員	浅野 孝一	平成 30 年 4 月 1 日	芦野
臨時職員（事務局勤務）	松谷 則子	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別西町
臨時補助教職員（拓心中勤務）	五十嵐 弘将	平成 29 年 4 月 1 日	浜鬼志別
臨時職員（浅茅野小勤務）	井上 亜由美	平成 27 年 9 月 1 日	浅茅野台地
学校支援員（鬼志別小勤務）	吉岡 優美	平成 27 年 4 月 1 日	鬼志別西町
学校支援員（鬼志別小勤務）	木村 友哉	平成 29 年 8 月 17 日	鬼志別西町
学校支援員（鬼志別小勤務）	浅野 秋美	平成 28 年 4 月 1 日	芦野
学校支援員（知来別小勤務）	木上 琴生	平成 28 年 4 月 1 日	鬼志別西町
学校支援員（浜鬼志別小勤務）	三上 理恵	平成 29 年 4 月 1 日	鬼志別北町

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

外国語指導助手	ミッチェル・シヤンテル・ルイズ	平成 30 年 8 月 9 日	鬼志別西町
外国語指導助手	ボーダン・エライジャ・ウィルソ	平成 30 年 8 月 9 日	鬼志別北町

(9) 学校給食センター職員 (平成 31 年 3 月 31 日時点)

職 名	氏 名	任命年月日	住 所
所長兼庶務係長兼業務係長	西 口 亮 一	平成 26 年 4 月 1 日	鬼志別南町
庶務係兼業務係主査	大 橋 昭 嗣	平成 29 年 10 月 1 日	鬼志別西町
業務係管理栄養士	高 田 莉 穂	平成 30 年 4 月 1 日	鬼志別北町
栄養教諭 (道費管理栄養士)	工 藤 郁 佳	平成 29 年 4 月 1 日	鬼志別西町

4. 平成 30 年度 教育委員会事務点検・評価

【執行方針の要点】 生きる力を支える確かな学力の定着

事業名	事業内容	成果・課題等	内部評価	外部評価
全国学力・学習状況調査及び標準学力検査結果の分析と課題把握の徹底	全小中学校でのテスト、結果の分析及び結果の公表	結果から考察される課題を今後の学力向上のための材料として各学校で取り組んでいるほか、市町村別結果の公表については学校単位ではなく市町村別の結果を公表した。特に算数や数学の設問で正答率が低い傾向であり、無回答率の高さや家庭学習時間の少なさも結果として現れており、結果を改善のための基礎データとして学力向上に向け学校・教委が連携して取り組んでいく必要がある。	(一次) C (二次) C	学習する意欲・考える意欲の向上・力の育成を図ってほしい C
学校力・授業力・教師力向上及び新学習指導要領へのスムーズな移行のための研修機会の充実	全小中学校を対象に実施	様々な研修機会への教職員派遣の推奨や呼びかけを実施し、教委主催による研修会を実施したほか、教育指導員による授業訪問指導を積極的に展開した。学校経営上、教職員の資質の向上は不可欠である。教育指導員の訪問指導や村内での研修開催などを今後も積極的に実施する必要がある。	(一次) B (二次) B	特に複式学級での研修を進めること。村研等の充実・活発化を期待したい。 B
補助教職員や学校支援員の活用による授業の充実と基礎学力の定着	補助教職員と学校支援員の配置	補助教職員を拓心中学校に配置、学校支援員は村内住者に募集をかけ採用した。学校支援員・補助教職員とも昨年度から継続の人材確保しかできなかった。村内の人材不足により確保は厳しさを増している現状にあることから、待遇の改善も含めて必要な人員の確保を図っていかなければならない。	(一次) D (二次) D	内部評価のとおり。 D
家庭学習の定着と放課後や長期休業中におけるサポート学習の取り組みの推進	小学生わくわく学習会の実施	各学校において家庭学習の定着が図れるよう努めているほか、学習意欲向上のため社会教育事業として北海道教育大学札幌校の学生を講師とした学習サポート事業を実施し、学習意欲の向上に努めた。テレビ学習会を計画したものの、申込者がなく未実施となった。学力面での課題の克服に向けて、長期休業中の学習会と一貫性を持たせたサポート学習の取り組みの企画立	(一次) D (二次) D	特に中学生の家庭学習に対する意識・意欲の低さを向上させる必要がある。 D

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

		案と実施により、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図っていく必要がある。		
外国語指導助手(ALT)の複数体制化	小学校の英語教科化に向けた ALT の増員	新たに2名のALTを配置し、1名は中学校の英語科の指導助手として、増員した1名は小学校の外国語活動時の指導助手として英語指導を精力的に実施した。外国語活動の増と教科化に対応するため各小学校でALTの計画的な活用を行った。令和2年度の教科化に向けて、複式学年の指導方法や中学校へのスムーズな接続など、移行期間中に充分協議し確立する必要がある。	(一次) A (二次) A ALTに依存せず、教員の指導力向上を図り小学校の外国語授業を推進すること	内部評価のとおり。 A
特別支援学級の設置と教職員の配置及び担当教諭の研修機会の充実	特別支援学級の設置 2小学校5学級、 拓心中学校3学級 学級種 難聴・知的・病弱・ 自閉情緒	教育支援委員会での判定に基づき、保護者の理解も得ながら適切な特別支援学級設置が図られた。特別支援連携協議会における保育所・小学校・中学校・関係機関における共通理解と情報共有により、継続した特別支援教育の体制を図った。特別支援学級児童生徒だけではなく、普通学級に在席する児童生徒においても個別のケアが必要な子どもは増加傾向で学校現場の困難さは増している現状にあり、保育所などの関係機関との情報共有により適切な学級設置と教員配置、支援員の確保などの人的支援も含めて対応を図っていく必要がある。	(一次) C (二次) C	障害種に対する教諭・保護者の理解が不足しているように感じる。また特別支援学級の中学生であれば自分の障害種を理解することが可能な年齢であるため、障害種にあった適切な学習を進めていただきたい。 C
教育指導員の配置による教育課程・学習指導・生徒指導等における学校教育の技術的・専門的事項に関する指導助言の実施	教育指導員の採用	退職校長を「教育指導員」として採用し、学校と教委のパイプ的な役割を担うほか、専門的な知識による学校現場への指導を行った。新たな職の設置であったが、教育分野における専門職として積極的に学校現場に出向き、授業改善等のための指導を行った。また学校からの支援要請に応じて授業や研修時のサポートなどの業務も行っている。次年度以降も現場経験を活かした指導業務を遂行していく必要がある。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B
学力・学習意欲の向上のためのICT端末(タブレット)などの情報機器整備	タブレット端末導入のほかICT関連備品の整備	今年度は未導入の学校を中心としてタブレット機器を導入した。中学校においてはタブレットを管理する機器の導入を行い、機器の更新作業などにおいて効率化を図ることができた。 令和元年度は機器の年次経過とOSのサポート切れに合わせて授業用と校務用のコンピュータ機器を一斉更新するため、タブレット機器とあわせて効果的な活用が図られ、また一斉更新により現場が混乱しないよう丁寧な学校現場への説明や整備を図っていく必要がある。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B

【執行方針の要点】 生きる力を支える豊かな心と健やかな体の育成

事業名	事業内容	成果・課題等	内部評価	外部評価
教科化された「特別の教科 道徳」の充実と授業研究	全小中学校での実施・検証・改善 全学校の道徳推進教諭の研修受講の勧奨	平成30年度から教科化された「特別の教科 道徳」の対応のため、各校の道徳推進教諭を中心とした授業研究の推進、教材「わたしたちの道徳」を活用した道徳性の育成、授業参観による保護者への授業公開に努めた。	(一次) C (二次) C 評価が難しい教科であることから一層の	評価が難しい教科であることは理解する。先生方に十分研修を積んで対応いただきたい。

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

		平成 30 年度から教科化され、評価は記述式で行うため他の教科と異なり難しいことから、今後も一層の教員研修や授業研究が必要である。	研修・授業研究を進めること。	C
学校図書の充実と子ども達の自主的読書活動への支援	「第 2 次 子どもの読書推進計画」(平成 28 年度～平成 32 年度)に基づく読書活動の推進	平成 28 年度策定した読書計画に基づき、団体貸出の推進や巡回図書車の実施など読書推進のための各種施策に取り組んだ。計画期間の 3 年次目となるが、未実施となっている項目について実施に向けて取り組んでいくこと、学校における蔵書の充実や専門職員等の配置の検討など、子どもの読書活動の充実のための施策を推進する必要がある。	(一次) C (二次) C	子どもや大人を問わず本離れは顕著である。読書推進の取組を進めること。 C
情報マナー、情報モラル、薬物問題に関する指導の充実	中学校の教科における情報技術・情報化社会及び薬物乱用防止の指導、小学校での道徳教科内での情報モラル教育の推進	中学校教科指導の中で情報化社会におけるマナーモラル、薬物問題について教育・指導を実施したほか、小学校の道徳においても情報化社会におけるマナーモラル学習を実施している。特に情報マナー・モラルの問題は機器の所有を含めて低年齢化が進む傾向にあり、小学校においてもネットトラブル教室の開催など、教育や指導が実施され、特にネットトラブル・SNSに関する教育や指導は小学校段階で充実させていく必要がある。	(一次) C (二次) C	SNS に対する正しい理解など、子どもだけではなく保護者も含めた情報モラルの教育が必要である。 C
保護者や学校保健委員会と連携した基本的な生活習慣の定着とフッ化物洗口(小 1 から小 4)による歯の健康保持の推進	学校保健委員会の開催 フッ化物洗口 小学校 1～4 年生で実施	学校保健委員会による協議や情報の共有を行い、村の児童生徒及び未就学児も含めた子どもの一貫した健康推進と保護者への情報提供を図り、フッ化物洗口は全小学校の 1～4 年生で取組みを実施した。調査から明らかとなっている課題の改善に向けた情報発信は、保護者を巻き込んだ取り組みに繋がるよう今後も各校・各機関が連携して実施していく必要がある。フッ化物洗口は実施から 4 年が経過することから、実施後のう歯発生率の変化などの効果を検証する必要がある。	(一次) B (二次) B	子どもの虫歯は増えていないか。歯磨き指導も含めて子どもの虫歯防止・早期治療による歯の健康保持に努めてほしい。 B
全国体力・運動能力等調査結果の分析と実態把握に基づいた体力向上活動に対する支援	全小中学校での実施・検証・改善	学校保健委員会において調査結果の分析や情報の共有により課題の把握を実施した。各学校において休み時間も利用した独自の体力向上に向けた取組みが積極的に実施された。 調査結果では全国平均を上回る項目もある一方で、柔軟性と走力の分野において数値が低い結果が依然として現れていることから、本村児童生徒における特徴的な課題であり、課題の克服につながる取組み内容の充実が求められる。	(一次) C (二次) C	スポーツ少年団に加入していない小学生の体力は低下していないか。普段運動機会のない子どもの体力・運動能力向上を意識し取組を進めていただきたい。 C
体力向上を図るための屋外遊具施設の計画的な更新・整備	浅茅野小学校遊具設置工事	老朽化している各小学校の屋外遊具の更新を計画的に実施しており、浅茅野小学校の屋外遊具を更新した。まだ老朽化した屋外遊具を使用している小学校があり、今後も計画的に更新・整備を実施していく必要がある。	(一次) A (二次) A	安全に配慮した配置もなされている。 A
中学校における部活動等の課外活動に対する支援	スクールバスによる活動支援及び全道大会出場補助金	中学校の各部活に対して交通手段の確保のためのスクールバス運行による支援のほか、全道大会に出場する際の出場経費及び遠征にかかる費用について補助金を支出し支援を行った。(剣道・野球 2 回 バレーボー	(一次) A (二次) A	全道大会でも上位成績を収める者もあり、引き続き支援をしていってほしい。

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

		ル) 今後も継続してスクールバス対応のほか、全道大会出場時の経費補助の支援を実施していく。		A
教育支援委員会等との連携による子どもの特性に応じた指導の充実	教育支援委員会の開催	特別な支援が必要な児童の就学先について教育支援委員会の専門的な見地からの協議により、適切な就学先の決定を行ったほか、在学児童生徒においても教育支援委員会の継続した協議と連携により、子どもの特性や変化にも適切に対応した指導を行った。 普通学級に在籍児童生徒においても、集団生活や授業中の支援が必要とされる児童が増えている傾向にあることから、学校支援員の確保と活用等により指導の充実を図っていかねばならない。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B
猿払実習(管内中学校特別支援学級校外宿泊合同学習事業)の支援	「猿払実習」への支援及び協力	猿払村を会場として実施されている宗谷管内中学校特別支援学級校外宿泊合同学習事業であるが、今年度においては実習の就労場所が確保出来なかったことにより事業自体が休止となったため支援ができなかった。 次年度においても就労場所の確保により実施の有無が判断されるため、実施の場合はこれまで同様に支援していきたい。	(一次) E (二次) E	猿払村での開催、合同の開催にこだわるべきではない。障害を持つ児童の就労体験は貴重であり重要である。 E
栄養教諭と村費栄養士の複数体制による食育及び食物アレルギー対策の充実	アレルギー疾患等検査費用助成金	食物アレルギーを持つ児童生徒に対し、栄養士の複数体制による対応食提供や献立チェックの実施のほか、アレルギー検査費用の助成により保護者へ早期発見を促し、食物アレルギーによる事故もなく安心安全な給食提供を行った。給食を管理する栄養士が1名となったが、4月より後任の管理栄養士の確保ができ複数体制での献立チェック等が実施できた。アレルギーをはじめ衛生面でのチェックも含めて複数体制を最大限に活用し安心安全な給食提供をしていかなければならない。	(一次) B (二次) B	急にアレルギー体質になることもある。命に係わる問題であるため、十分配慮し対応してほしい。安全衛生管理基準を満たすため施設の建替の検討を進めてほしい。 B

【執行方針の要点】 期待され、信頼される学校づくりの推進

事業名	事業内容	成果・課題等	内部評価	外部評価
「特色ある教育活動」に対する備品整備などの支援	特色ある教育活動に必要な備品の購入	学校独自の「特色ある教育活動」実施に必要な教育用備品について予算措置し備品購入を行い、活動の支援を行った。 各学校で実施している特色ある教育活動の推進のため、必要な備品購入のほか、物的・人的な支援も含めて学校の要望を充分聞き取り特色ある教育活動が実施できるよう支援を行いたい。	(一次) B (二次) B	浅茅野小のクロスカントリースキーは良い取組であるが、もっと費用対効果を高められるよう期待したい。 B
学習形態の変化に対応できるよう適正規格の生徒用機の更新	拓心中学校生徒用機購入	旧規格で新しい教科書のサイズに適合していなかった拓心中学校の生徒用機を更新し、生徒の学習環境の改善が図られた。学校備品については時代や学習内容の変化などで老朽に関わらず更新や導入が必要になる場合もあるため、学校と充分協議し、その必要性を見極めながら購入や更新を図っていく必要がある。	(一次) A (二次) A	内部評価のとおり。 A
校舎内の安全な活動の確保のための校内放送	浅茅野小学校校内放送設備・知来別小学	故障により学校活動に支障をきたしていた2校の放送機材を更新し、安全な学校活動	(一次) A	内部評価のとおり。

【平成30年度教育委員会点検・評価】

設備の更新	校体育館移動式放送設備購入	の確保がなされた。学校備品は多岐に及び老朽化による故障等で学校活動に支障を来たす場面もあることから、学校からの更新の要望事項を充分精査し予算の範囲内で機器類の更新を図っていく必要がある。	(二次) A	A
快適なトイレ環境を構築するための計画的なトイレ洋式化の推進	浜鬼志別小学校トイレ改修工事	計画的に洋式化を実施しており、今年度は1校で計3箇所の洋式化を実施した。学校要望も踏まえながら、今後もトイレの洋式化を進めていく必要がある。	(一次) A (二次) A	内部評価のとおり。 A
知来別小学校大規模改修事業の実施	知来別小学校大規模改修工事 ※補助不採択のため実施見送り	平成30年度の文部科学省の交付金による大規模改修事業を計画していたが、不採択となったため事業を後年度に先送りした。令和元年度において補助採択されたため、児童生徒の安心安全の確保を最優先課題とし、学校活動への影響を最小限度にしながら工事を実施していく必要がある。	(一次) - (二次) -	内部評価のとおり。
安全で快適な登下校環境のためのスクールバスの更新	29人乗りスクールバス購入	平成19年に購入したスクールバスの更新を行い、児童生徒の安全な登下校環境整備が図られた。スクールバスの必要性や登下校以外においても学校活動でバスを必要とする場面は多いことから、計画的な車両更新を図る必要があること、また一般利用についてもスクールバスの運行に支障のない範囲で住民要望に応えられるよう、ニーズを充分判断した上で対応していく必要がある。	(一次) A (二次) A	内部評価のとおり。 A
教職員住宅の計画的な改修による快適生活の維持・向上と建物の長寿命化の推進	小学校教職員住宅屋根改修工事 中学校教職員住宅屋根改修工事	老朽化が著しい1戸建ての住宅の屋根改修について小中それぞれ1棟ずつ改修を実施したほか、修繕費において小中それぞれ1棟ずつ全面的な内部仕上げの改修を行い、教職員の快適な生活環境の維持に努めた。 半分以上の住宅が築25年以上経過し老朽化しており、学校数は減ったものの特別支援学級の増加で教員数は減少していないことから、計画的な改修により教職員住宅の維持を行っていかねばならない。	(一次) C (二次) C	住環境の整備は重要である。計画的に対応していくこと。 C
地域との連携・協働による開かれた学校づくり推進のため学校運営協議会の設置(コミュニティスクールの導入)	拓心中学校における学校運営協議会の開催	拓心中学校の学校評議員制度を廃し新たに「学校運営協議会」を設置し、保護者代表、地域住民、学校代表、関係機関からの委員により開かれた学校づくりのための協議を行うことができた。次年度以降は各小学校において学校運営協議会を設置し、村内全校をコミュニティ・スクールとする計画である。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B
教職員へのサービス管理指導の徹底	全小中学校での実施・検証・改善	各学校へ様々な場面でのサービス規律の保持のための指導を実施していたところであるが、村内の学校で懲戒処分に該当する事故が1件発生したことから、取組みが十分ではなかったと反省せざるを得ない。事故を教訓として、当該学校での事故者への再発防止プログラムの実施など、学校全体で更なるサービス規律の徹底に向けた取組みを行っている。他の学校においても発生した事故を教訓により強い指導を求め、村全体で事故再発防止と信頼回復に向け取り組んでい	(一次) D (二次) D	事故は残念である。指導・教育は重要だが、教職員自身が悩みを相談しあえる人間関係・職場内のコミュニケーションの円滑化、ストレスを上手に発散でき

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

		く必要がある。		る環境づくりも 並行して取り組 むべきである。 D
--	--	---------	--	------------------------------------

【執行方針の要点】

村を愛し誇れる豊かな心を育み魅力あふれる地域づくりをめざす社会教育の推進

事業名	事業内容	成果・課題等	内部評価	外部評価
「生涯学習センター」の開設に向けた準備及び郷土資料の展示	旧浜猿払小学校における郷土資料整理等	平成28年度中に移設し体育館に一時保管していた郷土資料について整理しながら教室部分等に移動作業を行った。次年度には館内見学が可能となる段階を目標に、作業を進めた。 これまで予算をかけない中で作業を進めてきたが、新年度に向けて予算の確保を行い、必要な備品等を調達し資料展示を進め、並行して旧浜猿払小学校校舎全体の利用方法を具体化していく必要がある。	(一次) C (二次) C	展示物表示の工夫、常設展示と企画展示の両立させて施設に何度も足を運ぶ価値のある内容となるよう期待する。 C
文化財読本の改訂	改訂読本の発行	平成30年度において既存の文化財読本について改訂版を作成し、冊子として完成させ関係機関等に配布を行うことができた。村内の土地利用にも必要な情報となることから、役場内部だけではなく外部に対しても文化財の存在について認知してもらうための貴重な資料として、冊子を有効に活用していく必要がある。	(一次) A (二次) A	内部評価のとおり。 A
村民が気軽に参加できる講演会・講座等の学習機会の提供	生涯学習講演会、高齢者対象事業（ソーセージ作り・パン作り講座）、生涯学習講座等の開催	新規の高齢者対象講座の開催や、独自事業や村長部局との連携による講座の開催を行ったほか、年間のカレンダーの作成や講座受講を促すためにスタンプラリー的な取り組みとして「講座マラソン」を実施するなど、気軽に参加できる取り組みを実施することができた。意欲のある村民へ学習機会を提供するだけでなく、参加意欲を喚起・向上するような魅力ある事業を企画立案・実施し、村民に広く生涯学習の意識が浸透するよう取り組んでいく必要がある。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B
様々なジャンルのレベルの高い生の演奏を聴く機会の提供のため村民音楽会の継続実施	村民音楽会の実施（フルビート！パークッション）	子どもから大人や高齢者まで楽しめる打楽器の演奏会を実施し、村民にレベルの高い生の音楽を聴く機会を提供することができた。村民が地域的に生の音楽に触れる機会自体が皆無であることから、事業は非常に有効な取り組みであり、今後も継続して実施できるよう予算の確保や、より村民に喜ばれる演奏者の選定が今後も重要である。	(一次) A (二次) A	内部評価のとおり。 A
スポーツ・文化活動団体の全道・全国大会への参加支援と、日々の活動に対する支援	猿払村文化・スポーツ活動全国大会等出場補助金	少年団などが全道大会等に出場する際に必要となる宿泊費等の遠征に伴う費用について補助を行い、活動支援のほか選手の保護者負担軽減にも寄与することができた。全道大会は5団体(サッカー・野球・バドミントン・剣道の各スポーツ少年団と子ども会カルタチーム)、全国大会は野球少年団員の選抜による大会出場に対し支援を実施した。 活動の活発化により施設の利用状況も過密となり、調整しながら施設を利用し練習を行	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B

【平成 30 年度教育委員会点検・評価】

		っている。限られた施設を有効に利用するため、団体間の調整が必要となってくるほか、施設自体も老朽化しているため施設の営繕等練習環境の確保が重要となってくる。		
村民の運動習慣の定着や体力向上のための体力測定会の定期的な実施	体力測定会 計2回 開催	社会教育・社会体育年間事業カレンダーにより、年間通じて3回の実施を計画し、荒天のため冬期は中止としたが、予定した実施日において複数回の体力測定会を実施することができた。 講座の実施同様、意欲のある参加者への機会の提供と、運動機会の少ない村民に対し運動意欲の喚起・向上に繋がるよう、他の体育事業も含めて魅力ある事業を企画立案し、実施していく必要がある。	(一次) B (二次) B	内部評価のとおり。 B
安心・安全に活動できる環境整備のための社会教育、社会体育各種施設の維持管理	農村環境改善センター ガラスブロック改修工事等施設改修工事の実施 指定管理による施設維持管理等	体育施設を使用するうえで支障のある施設・設備について、修繕及び改修工事を行った。施設全般に老朽化が進んでいることから、公共施設総合管理計画の個別計画の検討の中で長寿命化が必要な施設と終期設定が必要な施設を明確化し、終期設定する施設についてはその役割の補完方法を協議していかなければならない。	(一次) C (二次) C	体育施設は重要。老朽化していることも理解するが、建て直しは厳しいため、改修しながら長く使用できるように維持していただきたい。 C

猿 弘 村 教 育 目 標

前 文

わたしたちは、ゆたかな海とめぐみの大地「さるふつ」にしっかりと腰をおろし、日々の暮らしのなかで柔らかな考えと健やかな心、強い体を育み、一人一人が社会に潤いと輝きを与えるとともに、みんなが手を取りあつて魅力あふれるふるさとづくりを目指します。

目 標

ゆとりと潤いのある、学びの環境づくりを進めましょう

心豊かに、たくましく生きる人を育みましょう

文化やスポーツに親しみ、心も体も健康にしましょう

ふるさとの恵に感謝し、共に築く心を育てましょう

平成16年3月制定

平成30年度

教育行政執行方針

猿払村教育委員会

< 目 次 >

□はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

I. 生きる力を支える確かな学力の定着・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 生きる力を支える豊かな心と健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・ 2～3

III. 期待され、信頼される学校づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・ 3～4

IV. 村を愛し誇れる豊かな心を育み魅力あふれる

地域づくりをめざす社会教育の推進・・・・・・・・・・・・ 4

□むすびに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

□はじめに

平成 30 年第 1 回猿払村議会定例会の開会にあたり、猿払村教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針と施策について申し上げます。

急激な人口減少と少子・高齢化、グローバル化や高度情報化などによる社会変化が予想を超えて進展する中、活力ある地域社会を実現していくためには、一人ひとりが主体的に社会と関わり、新しい時代に必要な資質や能力を身に付けることが大切となっていくことから、教育の果たす役割がますます重要になってきています。

このような中で、教育を取り巻く状況も、いじめや不登校及び学力・体力など様々な課題が指摘されており、学校・家庭・地域が協働し、社会全体で子ども達の教育に取り組む必要があると言われております。

第 7 次猿払村総合計画の目指す村の将来像である『心豊かでステキな人がいる村～人づくり～』の実現と、平成 28 年 3 月に策定した猿払村教育大綱で基本目標と定めた「生きる力を身に付け、心身ともに健康で個性豊かな子どもの育成」と「自ら学び、その成果を活かせる環境づくり」の実現に向け、教育施策を進めてまいります。

以下、平成 30 年度の教育行政の執行に係る主要な方針と具体的な施策について申し上げます。

I. 生きる力を支える確かな学力の定着

子ども達一人ひとりが自ら学び、考え、課題を発見し、その課題を他者と連携・協働しながら解決できる能力を育み、基礎・基本を踏まえた「確かな学力」を身に付けることが重要です。

次期学習指導要領の本格実施に向け、子ども達の「知・徳・体」にわたる「生きる力」の育成を基本にしつつ、本年から村では初めてとなる「教育指導員」を配置し、学校教育の技術的・専門的事項に関する指導・助言体制を充実してまいります。

また、本年から前倒し実施で小学校における外国語活動に対応するために、これまで1名体制の外国語指導助手(A L T)を複数体制にするなど、学校教育の充実を図るよう、以下の具体的施策を推進してまいります。

<具体的施策>

1. 全国学力・学習状況調査及び標準学力検査結果の分析と課題把握の徹底
2. 学校力・授業力・教師力向上及び新学習指導要領へのスムーズな移行のための研修機会の充実
3. 補助教職員や学校支援員の活用による授業の充実と基礎学力の定着
4. 家庭学習の定着と放課後や長期休業中におけるサポート学習の取組みの推進
5. 外国語指導助手(A L T)の複数体制化
6. 特別支援学級の設置と教職員の配置及び担当教諭の研修機会の充実
7. 教育指導員の配置による教育課程・学習指導・生徒指導等における学校教育の技術的・専門的事項に関する指導助言の実施
8. 学力・学習意欲の向上のための I C T 端末(タブレット)などの情報機器整備

II. 生きる力を支える豊かな心と健やかな体の育成

子ども達の生活及び学習の状況を把握しながら、「確かな学力の定着」と密接な関係にある「豊かな心」と「健やかな体」の育成を、心と体のバランスを保ちながら、発達段階に応じた適合性を図りつつ推進してまいります。

基本的な倫理観や規範意識、生命の大切さや思いやりの心、美しいものに感動する心など、自己肯定感を醸成させながら、「豊かな心」を育て、意欲や気力にも大きく関わり、食べることと同等に、子ども達が生涯にわたり

心身ともに健やかに生きていくための基盤となる「健やかな体」を育成するため、以下の具体的施策を推進してまいります。

<具体的施策>

1. 教科化された「特別の教科 道徳」の充実と授業研究
2. 学校図書 の 充実と子ども達の自主的読書活動への支援
3. 情報マナー、情報モラル、薬物問題に関する指導の充実
4. 保護者や学校保健委員会と連携した基本的な生活習慣の定着とフッ化物洗口（小1から小4）による歯の健康保持の推進
5. 全国体力・運動能力等調査結果の分析と実態把握に基づいた体力向上活動に対する支援
6. 体力向上を図るための屋外遊具施設の計画的な更新・整備
7. 中学校における部活動等の課外活動に対する支援
8. 教育支援委員会等との連携による子どもの特性に応じた指導の充実
9. 猿払実習（管内中学校特別支援学級校外宿泊合同学習事業）の支援
10. 安心して安全な給食提供のための調理場機器類の整備
11. 栄養教諭と村費栄養士の複数体制による食育及び食物アレルギー対策の充実

Ⅲ. 期待され、信頼される学校づくりの推進

学校は通う子ども達だけではなく、そこに住む地域の方々にとっても安心して安全な環境であることが求められており、また近年は学校に対する期待は高まる一方で、学校現場では時代とともに様々な課題や問題も山積しております。学校づくりを学校・家庭・地域が連携協働し、総がかりで子どもたちを育む新しい仕組みを構築していくとともに、教育環境の整備を計画的に実施していくため、以下の具体的施策を推進してまいります。

<具体的施策>

1. 「特色ある教育活動」に対する備品整備などの支援
2. 学習形態の変化に対応できるよう適正規格の生徒用機の更新
3. 校舎内の安全な活動の確保のための校内放送設備の更新
4. 快適なトイレ環境を構築するための計画的なトイレ洋式化の推進

5. 知来別小学校大規模改修事業の実施
6. 安全で快適な登下校環境のためのスクールバスの更新
7. 教職員住宅の計画的な改修による快適生活の維持・向上と建物の長寿命化の推進
8. 地域との連携・協働による開かれた学校づくり推進のため学校運営協議会の設置(コミュニティスクールの導入)
9. 教職員へのサービス管理指導の徹底

IV. 村を愛し誇れる豊かな心を育み魅力あふれる地域づくりをめざす社会教育の推進

社会教育の推進は、村民が心豊かで充実した生活を送るためには不可欠なことであり、その時代にあった環境の整備は特に重要であります。村民が誰でも・いつでも・どこでも学べる生涯学習機会の創設、青少年の健全育成、芸術文化活動に親しむ環境づくり、気軽にスポーツできる環境づくりを目指して、様々な部局と連携し、社会教育推進計画を基本とし以下の具体的施策を推進してまいります。

<具体的施策>

1. 「生涯学習センター」の開設に向けた準備及び郷土資料の展示
2. 文化財読本の改訂
3. 村民が気軽に参加できる講演会・講座等の学習機会の提供
4. 様々なジャンルのレベルの高い生の演奏を聴く機会の提供のため村民音楽会の継続実施
5. スポーツ・文化活動団体の全道・全国大会への参加支援と、日々の活動に対する支援
6. 村民の運動習慣の定着や体力向上のための体力測定会の定期的な実施
7. 安心・安全に活動できる環境整備のための社会教育、社会体育各種施設の維持管理

□むすびに

以上、平成 30 年度の教育行政執行にあたっての主要な方針と具体的な施策について申し上げました。

本村の子ども達が安心して伸び伸びと学校生活を楽しめるよう、また全ての村民の皆様が、生涯を通じて生き生きと学び、活動することができる生涯学習社会の構築に向け、村長部局と連携し教育行政の推進に全力で取り組んでまいります。

議員の皆様並びに村民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月 6 日

猿払村教育委員会